

2021年1月11日

One Driveの使い方について

広報部 玉上佳彦

Windows 10パソコンを使用されている多くの方が疑問に思われているOneDriveについて以下に説明いたします。

1. パソコンのファイルの保存先

これまでは、一般的にパソコンで作成した Word や Excel のデータは目の前の個人の PC のドキュメントのフォルダーに保存されます。従来の PC ではこれが普通でした。

Windows 10 には、保存場所として「OneDrive」というクラウドに保存することもできるようになりました。OneDrive に保存すると、インターネットに接続された保存場所にデータが存在することになるので、作成されたデータを他のパソコン、スマホ、タブレットなどから呼び出したり、編集作業などができるようになります。

2. クラウドの保存先

OneDrive に代表される保存場所をクラウド（＝雲）ストレージといいます。一般的にクラウドストレージには、マイクロソフトの OneDrive のほかに、Google の Google ドライブ、Amazon S3 、Dropbox などあります。

個人向けのパソコンでは、データをクラウドに保存する必要はほとんどないのですが、企業などがリモートワークをする際には、会社の PC で作成したデータを自宅の PC で編集などの作業ができるようになり、便利です。企業では、共同でデータを管理するなどの必要性がありますが、個人の PC だけに保存されていると不都合なことが多いので、クラウドを経由して共有することが可能となります。データはオンライン上にあるので、パソコンでなくてもスマホやタブレットからも簡単に閲覧や編集ができます。いつでもどこでもアクセスできることがクラウドストレージの特徴です。

3. OneDrive 利用のメリット、デメリット

個人の PC で作成したファイルを共有する必要がない場合は、OneDrive を使用することはあまりお薦めできません。なぜならば、作成したデータを呼び出して編集作業などをする場合は、常にインターネットに接続している必要があります。

もし、保存したファイルを外出先などで、スマホやタブレットで見ながら、作業をする場合には、個人の PC がなくても、ネットに繋がっていれば、可能となります。

但し、上記のような作業をする必要のない場合は、個人の PC のドキュメントに保存することをお薦めします。

